

地域計画

策定年月日	令和 7年 3月 6日
更新年月日	令和 8年 5月 11日 (第1回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	南 砺 市 162108
地域名 (地域内農業集落名)	南山田 地区 (信末、是安、野田、金戸、国広、千福、野口、塔尾、 上見、上原、西原、南原、京塚、大窪、細木)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	546.56 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	510.21 ha
② 田の面積	491.59 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	54.98 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	15.18 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.37 ha
(参考)区域内における65才以上の農業者の農地面積の合計	25.86 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	5.84 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における65才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当地区は南北に長く、北部の平野部から南部で傾斜のある中山間部までが含まれている。平野部では、集落営農が法人化され、農地も概ね30a区画に整備されているが、南部では特に傾斜地が多いことや、人口が少ないことから後継者や労働力の確保と、獣害や草刈り等の管理も含めて課題となっており、畑が多い分、耕作放棄地が目立ってきている。

集落によっては、耕作者等の高齢化及び後継者不足により、個人経営者が継続出来ない事例が増加している。営農組織も労働力不足により集積出来ない状態にもある。そのため、耕作放棄地が今後も増加することが確実視されている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

持続的に農地の利用を図るために、スマート農業による省力化・効率化を進めつつ、地域の活性化を進めるため、新規就農者等を確保・育成する必要もある。一方で、遊休農地の対処方法として粗放的管理の検討も必要である。

現段階では営農組織が中心となり、農地を利用していく仕組みの構築を検討し、更に、今後発生する管理者不在の農地を集約するとともに、主要作物である米、麦、大豆に加え、地域で取り組める新たな作物(別品種等:特別栽培米、ブランド化を目指す酒米等)の栽培方法等も検討していく必要がある。

また一部では、現在の営農組織の単位を超えた広範囲の営農法人化により、更なる効率化利用を図る検討も必要と思われる。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
<p>信末:集落内の2つの営農法人に概ね集積しており、スマート農業の導入による省力化のに努め、今後、個人経営者が継続しない場合は、営農組織に集積するとともに、組織の合併も検討する。</p> <p>是安:集落営農法人と有機栽培の担い手に概ね集積されている。作業性を高め農地の恒久的な維持・保全を行うため、基盤整備事業による農用地の大区画化やスマート農業の導入を検討する。今後は両者の統合も検討する。</p> <p>野田:集落営農法人が概ね集積している。認定農業者を中心に段階的に集積・集約化を推進し、スマート農業の導入による省力化や効率的作物の団地化を進める。</p> <p>金戸:集落営農法人が概ね集積しており、個人農業者の経営も安定している。今後は、スマート農業の導入による省力化を図り、営農継続できない場合は営農法人に集積する。</p> <p>国広:1戸を除いて集落営農法人が農地を集積しているため、今後継続できない場合は営農法人に集積する。</p> <p>千福:1戸を除いて集落営農法人が農地を集積している。営農法人は存続のため、スマート農業の導入による省力化と併せて、新たな作物や次世代の担い手の育成方法を検討する。認定農業者や新規就農者も加えて基盤整備事業を進める。</p> <p>野口:集落営農法人が概ね集積しており、今後は、会社として存続できよう、農協の酒米ブランド化と共に作業受託を充実させ、経営安定を図り、従業員が活躍し営農組織と集落の有機的共存を目指す。</p> <p>塔尾:集落の任意営農組織が概ね集積している。集落外の担い手経営体の集積もあるが、個人経営者が継続できなくなった場合は、営農組織が集積する。そのためにも、スマート農業による省力化・効率化を図りつつ、新規就農者等を確保・育成する必要もある。</p> <p>上見:集落内の3戸の個人経営者と任意集落営農組織が概ね集積している。個人経営者が経営継続をできなくなった場合は、集落営農組織に集積する。</p> <p>上原:任意営農組織が概ね集積している。新規就農会社の参入や就農を目指す移住者が定着できるように期待しつつ、見守っていきたい。</p> <p>立野原東(西原、南原、京塚集落):集落営農は組織されていない。他地区の集落営農法人や任意組織が集積している。今後は、スマート農業による省力化・効率化を図りつつ、獣害が拡大しないよう防護柵を耐久型へ更新することで、集積・集約化に繋げる。また、集落内外からの担い手を受入れ、集落内が一体化できる体制を検討する。</p> <p>大窪:集落内には個人経営の担い手が数名存在している。近隣の集落営農法人と共に認定農業者等を中心に集積・集約を進める。</p> <p>細木:集落営農法人が全ての農地を管理しており、効率の良い営農の推進を図っていく。</p>			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	71.52 %	将来の目標とする集積率	80.00 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
貸付け等の意向が確認された農地15.18haについては、担い手である営農組合法人、認定農業者及び集落営農組織を中心に集約化を進めていく。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
地域内の農業を担う者への経営農地の更なる集約化を目指し、隣接する地区の所有者の意向も確認しつつ、原則として、農地中間管理機構を通じて貸し付けていく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農業の担い手が諸事情により営農の継続が困難となった場合には、地域計画の見直しを行い、農地の一時保全管理や新たな受け手への貸し付けができるよう、機構を通じて進めていく。
(3)基盤整備事業への取組
是安・千福集落においては、農地の大区画化・汎用化等のため、基盤整備事業を計画しており、千福では令和16年度までの実施予定としている。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
行政機関や農協と連携し、地域内外から多様な経営体を募集し、栽培技術や農業用機械のレンタルなどの支援や生産する農地をあっせんし、相談から定着まで切れ目のない取り組みを展開する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地域内での防除作業等、農作業の効率化を図れる場合は、農業協同組合等への委託による省力化の検討を行う。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①イノシシやシカの被害が拡大しないよう、防護柵を耐久型へ更新することにより、据付・撤去作業の少力化を図りつつ、目撃情報や被害情報があった場合には速やかに対応できる体制を構築する。併せて地域内外から捕獲人材の確保・育成を進める。
- ②担い手(有機農業)と営農組織の合併を検討する。主力水稻は、減農薬、減肥料から無農薬、無肥料への取組を進める。地域特産物の水稻を対象に有機農業への切り替えを段階的に進めるため、千福地区において管理協定の締結を進める。
- ③生産効率をあげるため大型農機やドローン、パイプライン、ICT等の導入により作業の効率化、圃場管理作業(水管理、除草等)の省力化を検討し、合わせて区画拡大の検討も行う。
- ⑦農地の保全部管理を推進し、耕作放棄地を出さないよう啓発活動を行う。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	85経営体		462.68 ha	0 ha		460.99 ha	0 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	なんと農業協同組合	防除作業	水稻

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

- 注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
- 注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
- 注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	集	水稲・大麦	48.35 ha	ha	水稲・大麦	48.35 ha	ha	A	
2	集	水稲・大麦	18.00 ha	ha	水稲・大麦	18.00 ha	ha	B	
3	集	水稲・大麦	61.35 ha	ha	水稲・大麦	61.35 ha	ha	C	
4	集	水稲	26.00 ha	ha	水稲	26.00 ha	ha	D	
5	集	水稲・大麦・蕎麥	45.06 ha	ha	水稲・大麦・蕎麥	45.06 ha	ha	E	
6	集	水稲・大麦	23.94 ha	ha	水稲・大麦	23.94 ha	ha	F	
7	集	水稲・大麦・大豆	43.88 ha	ha	水稲・大麦・大豆	43.88 ha	ha	G	
8	集	水稲・大麦	29.01 ha	ha	水稲・大麦	29.01 ha	ha	H	
9	集	水稲・果樹	10.00 ha	ha	水稲・果樹	10.00 ha	ha	I	
10	集	水稲・エン麦	10.38 ha	ha	水稲・エン麦	10.38 ha	ha	J	
11	集	水稲・果樹	15.95 ha	ha	水稲・果樹	15.95 ha	ha	K	
12	集	水稲・大麦・大豆	25.00 ha	ha	水稲・大麦・大豆	25.00 ha	ha	L	
13	集	水稲	6.60 ha	ha	水稲	6.60 ha	ha	M	
14	認農	園芸	1.00 ha	ha	園芸	1.00 ha	ha	N	
15	認農	水稲・野菜	2.45 ha	ha	水稲・野菜	2.45 ha	ha	O	
16	認農	水稲・果樹・野菜	2.15 ha	ha	水稲・果樹・野菜	2.15 ha	ha	P	
17	認就	水稲・大豆・野菜・緑肥	2.19 ha	ha	水稲・大豆・野菜・緑肥	2.19 ha	ha	Q	
18	認農	水稲	4.90 ha	ha	水稲	4.90 ha	ha	R	
19	認農	水稲・野菜	0.60 ha	ha	水稲・野菜	0.60 ha	ha	S	
20	認就	水稲	6.20 ha	ha	水稲	6.20 ha	ha	T	
21	認就	野菜	0.35 ha	ha	野菜	0.35 ha	ha	U	
22	認就	野菜	0.33 ha	ha	野菜	0.33 ha	ha	V	
23	到達	水稲・果樹	3.30 ha	ha	水稲・果樹	3.30 ha	ha	W	
24	到達	水稲・野菜	4.56 ha	ha	水稲・野菜	4.56 ha	ha	X	
25	利用者	水稲・果樹・野菜	8.33 ha	ha	水稲・果樹・野菜	8.33 ha	ha	Y	
26	利用者	水稲・野菜	7.81 ha	ha	水稲・野菜	8.15 ha	ha	Z	
27	利用者	水稲	1.18 ha	ha	水稲	1.18 ha	ha	AA	
28	利用者	水稲	0.30 ha	ha	水稲	0.30 ha	ha	AA	
29	利用者	水稲	0.30 ha	ha	水稲	0.30 ha	ha	AA	
30	利用者	水稲・ネギ	0.50 ha	ha	水稲・ネギ	0.50 ha	ha	AA	
31	利用者	野菜・果樹	0.40 ha	ha	野菜・果樹	0.40 ha	ha	AA	
32	利用者	水稲	0.30 ha	ha	水稲	0.30 ha	ha	AA	
33	利用者	水稲	2.80 ha	ha	水稲	2.80 ha	ha	AA	
34	利用者	水稲	2.60 ha	ha	水稲	2.60 ha	ha	AA	
35	利用者	水稲	0.40 ha	ha	水稲	0.40 ha	ha	AA	
36	利用者	水稲	0.50 ha	ha	水稲	0.50 ha	ha	AA	
37	利用者	水稲	2.24 ha	ha	水稲	2.24 ha	ha	AA	
38	利用者	水稲	1.18 ha	ha	水稲	1.18 ha	ha	AA	
39	利用者	水稲	0.01 ha	ha	水稲	0.01 ha	ha	AA	
40	利用者	水稲	0.74 ha	ha	水稲	0.45 ha	ha	AA	
41	利用者	水稲・野菜	0.77 ha	ha	水稲・野菜	0.77 ha	ha	AA	
42	利用者	水稲	2.33 ha	ha	水稲	2.13 ha	ha	AA	
43	利用者	水稲	3.44 ha	ha	水稲	2.74 ha	ha	AA	
44	利用者	水稲・大豆・野菜	2.56 ha	ha	水稲・大豆・野菜	2.21 ha	ha	AA	
45	利用者	水稲・野菜	1.67 ha	ha	水稲・野菜	1.52 ha	ha	AA	
46	利用者	水稲	1.80 ha	ha	水稲	1.80 ha	ha	AA	
47	利用者	水稲	2.10 ha	ha	水稲	2.10 ha	ha	AA	
48	利用者	野菜	0.03 ha	ha	野菜	0.03 ha	ha	AA	
49	利用者	野菜	0.50 ha	ha	野菜	0.50 ha	ha	AA	
50	利用者	野菜	0.07 ha	ha	野菜	0.07 ha	ha	AA	
51	利用者	野菜・果樹	0.48 ha	ha	野菜・果樹	0.48 ha	ha	AA	
52	利用者	野菜	0.13 ha	ha	野菜	0.13 ha	ha	AA	
53	利用者	野菜・果樹	0.34 ha	ha	野菜・果樹	0.34 ha	ha	AA	
54	利用者	野菜・果樹	0.29 ha	ha	野菜・果樹	0.29 ha	ha	AA	
55	利用者	野菜	0.17 ha	ha	野菜	0.17 ha	ha	AA	
56	利用者	野菜	0.11 ha	ha	野菜	0.11 ha	ha	AA	
57	利用者	野菜	0.00 ha	ha	野菜	0.00 ha	ha	AA	
58	利用者	野菜・花木	0.19 ha	ha	野菜・花木	0.19 ha	ha	AA	
59	利用者	水稲	1.41 ha	ha	水稲	1.41 ha	ha	AA	
60	利用者	水稲	1.64 ha	ha	水稲	1.30 ha	ha	AA	
61	利用者	野菜	1.86 ha	ha	野菜	1.86 ha	ha	AA	
62	利用者	野菜	0.12 ha	ha	野菜	0.12 ha	ha	AA	
63	利用者	野菜	0.23 ha	ha	野菜	0.23 ha	ha	AA	
64	利用者	野菜	1.00 ha	ha	野菜	1.00 ha	ha	AA	

65	利用者	景觀作物	0.11 ha	ha	景觀作物	0.11 ha	ha	AA	
66	利用者	野菜	0.05 ha	ha	野菜	0.05 ha	ha	AA	
67	利用者	野菜	0.18 ha	ha	野菜	0.18 ha	ha	AA	
68	利用者	野菜	0.12 ha	ha	野菜	0.12 ha	ha	AA	
69	利用者	野菜	0.19 ha	ha	野菜	0.19 ha	ha	AA	
70	利用者	水稻・大豆	1.44 ha	ha	水稻・大豆	1.44 ha	ha	AA	
71	利用者	野菜	0.21 ha	ha	野菜	0.21 ha	ha	AA	
72	利用者	水稻	0.10 ha	ha	水稻	0.10 ha	ha	AA	
73	利用者	野菜	0.62 ha	ha	野菜	0.62 ha	ha	AA	
74	利用者	野菜	0.63 ha	ha	野菜	0.63 ha	ha	AA	
75	利用者	果樹	0.42 ha	ha	果樹	0.42 ha	ha	AA	
76	利用者	水稻	0.63 ha	ha	水稻	0.63 ha	ha	AA	
77	利用者	水稻	0.97 ha	ha	水稻	0.97 ha	ha	AA	
78	利用者	野菜	1.10 ha	ha	野菜	1.10 ha	ha	AA	
79	利用者	水稻	0.30 ha	ha	水稻	0.30 ha	ha	AA	
80	利用者	水稻	2.20 ha	ha	水稻	2.20 ha	ha	AA	
81	利用者	水稻、野菜	2.30 ha	ha	水稻、野菜	2.30 ha	ha	AA	
82	利用者	水稻	2.20 ha	ha	水稻	2.20 ha	ha	AA	
83	利用者	水稻	2.37 ha	ha	水稻	2.37 ha	ha	AA	
84	利用者	水稻	1.80 ha	ha	水稻	1.80 ha	ha	AA	
85	利用者	水稻	0.34 ha	ha	水稻	0.34 ha	ha	AA	
86			ha	ha		ha	ha		
87			ha	ha		ha	ha		
88			ha	ha		ha	ha		
89			ha	ha		ha	ha		
90			ha	ha		ha	ha		